

基本目標 3

創造性と活力ある産業



15 農業の振興

計画の目標

生産性の向上や担い手育成、高品質化により持続可能な農業を目指します。

- 本町の農業は、みかんの栽培を中心に行われてきましたが、近年では荒廃地を活用したオリーブ栽培も行われています。しかし、農家世帯数の減少や高齢化による担い手不足、年々増加する耕作放棄地対策が重要な課題となっています。
- 国は、担い手への農地の集積・集約化の推進、持続可能な農業構造の構築、生産コストの低減のためのスマート農業技術の導入・DXの推進等により、農業経営の収益力を高め、農業者の所得向上を目指すこととしています。
- 今後は、引き続き生産基盤整備・充実等、生産性の向上を進めながら、担い手育成、経営基盤強化及び労力支援に努めます。また、みかんやオリーブなどの特産品については、高品質化や販路拡大を推進するなど戦略的な取組を進めます。

主な数値目標

数値目標	単位	現状値 (R6)		目標値 (R12)
農業産出額	千万円	188	➡	200

具体的な取組

1 農業生産基盤の充実・維持管理（産業振興課）

生産性の向上や施設の維持を図るため、農業生産基盤の整備や農家間の連携強化、機械化の促進等を図ります。また、イノシシやアナグマ等の有害鳥獣対策を推進するほか、農業用ため池の保全に努めます。

主な取組

- 農業農村整備事業の推進（産業振興課）
- 農業生産基盤の整備支援（農地改良、農道・用排水施設等）（産業振興課）
- 有害鳥獣対策の推進（産業振興課）
- 農業用ため池の保全（産業振興課）

取組に対する数値目標

数値目標	単位	現状値 (R6)		目標値 (R12)
有害鳥獣による被害面積	ha	6.2	➡	6.0



2 担い手育成・経営基盤の強化（産業振興課）

長崎県や農業協同組合等関係機関、UI ターン施策と連携し、農業後継者・新規就農者の確保・育成を図ります。また、県が設置する「農地中間管理機構」と連携し、農地集積、耕作放棄地の解消及び発生防止に努めます。

主な取組

- ★後継者の育成及び認定農業者の経営基盤強化（産業振興課）
- ★UI ターンと連携した新規就農者の確保（産業振興課）
- ★農地の集約・流動化（賃貸借等）による担い手への集積と耕作放棄地の解消（産業振興課）
- 長与町農業支援センターによる総合的支援（産業振興課）

取組に対する数値目標

数値目標	単位	現状値 (R6)		目標値 (R12)
利用集積及び中間管理を通じた貸借契約全体面積	ha	63.6	➡	70.0

3 生産性の向上と高品質化、販路拡大（産業振興課）

農商工連携や企業参入等による6次産業化の促進に取り組むとともに、高付加価値商品の生産を支援します。また、スマート農業普及のための環境整備に取り組みます。さらに、地産地消を推進するため、直売所向け農作物の生産支援、ふるさと応援寄附金を活用したPRと販路拡大を目指します。

主な取組

- ★農商工連携や企業参入等による6次産業化の促進（産業振興課）
- ★スマート農業による効率的な生産技術導入への支援（産業振興課）
- ★高付加価値商品の生産支援（産業振興課）
- ★直売所向け農作物の生産支援による地産地消の推進（産業振興課）
- ふるさと応援寄附金返礼品による販路拡大（産業振興課）

取組に対する数値目標

数値目標	単位	現状値 (R6)		目標値 (R12)
農産物直売所販売額	百万円	479	➡	500
長崎みかんブランド率	%	38	➡	40

4 体験農業の推進（産業振興課）

ふれあい農園による体験農業の環境づくりやグリーン・ツーリズムの推進などにより、住民が農業に触れやすい環境づくりを進めます。

主な取組

- ふれあい農園による体験農業の推進（産業振興課）
- グリーン・ツーリズムを通じた農業体験の普及支援（産業振興課）

取組に対する数値目標

数値目標	単位	現状値 (R6)		目標値 (R12)
ふれあい農園契約貸出率	%	90	➡	95
グリーン・ツーリズム事業実施日数(農業)	日	7	➡	10

基本目標 1

基本目標 2

基本目標 3

基本目標 4

基本目標 5

基本目標 6



計画の目標

森林整備等を通じ、森林の多面的機能の維持・向上に取り組みます。

- 国は、森林・林業・木材産業によるグリーン成長を目指し、森林資源の適正な管理・利用、「新しい林業」に向けた取組の展開、新たな山村価値の創造、また、市町村業務として、森林の経営管理の集積・集約化を推進するとともに、森林整備等を通じて森林の多面的機能の維持・向上に取り組む森林経営管理制度を推進することとしています。
- 本町では、制度の趣旨を踏まえ、経済的側面のみならず、土砂災害の防止や水源のかん養、自然環境の保全、地球温暖化の防止など多面的機能の維持・向上に向け、森林の保全や治山事業の促進を図ります。

主な数値目標

数値目標	単位	現状値 (R6)		目標値 (R12)
森林経営管理制度意向調査実施面積	ha	39	➡	151

具体的な取組

1 森林の保全と活用（産業振興課）

経営管理が行われていない人工林については、森林経営管理制度を活用して森林所有者へ意向調査を行い、森林施業を行う民間事業者との仲介を行うことで林業経営の効率化及び森林管理の適正化を図り、林業の持続的発展を推進します。

主な取組

- 森林経営管理制度の推進（産業振興課）

取組に対する数値目標

数値目標	単位	現状値 (R6)		目標値 (R12)
森林経営管理制度意向調査実施面積	ha	39	➡	151



2 治山事業の推進 (産業振興課)

土砂災害の防止や水源のかん養など、森林の持つ多面的機能を発揮させるため、治山事業による森林の保全に努めます。

主な取組

- 治山事業による森林の保全促進 (産業振興課)

取組に対する数値目標

数値目標	単位	現状値 (R6)		目標値 (R12)
補助治山事業 (累計)	件	9	➡	10



基本目標 1

基本目標 2

基本目標 3

基本目標 4

基本目標 5

基本目標 6

計画の目標

漁場環境改善や「つくり育てる漁業の推進」により水産業の振興を図ります。

- 本町の漁業は、動力船の大部分が1トン未満で小規模経営が中心となっており、就業者の減少と高齢化が進行しています。
- 国は、持続性のある水産業の成長産業化と漁村の活性化の実現を目指し、水産資源管理の着実な実施、海洋環境の変化への対応、漁船漁業の構造改革、漁業の振興に向けた漁協の連携強化、藻場・干潟の保全など多面的機能の発揮、漁場環境の保全等を推進することとしています。
- 本町でも、引き続き漁場・藻場の環境改善に取り組むとともに、つくり育てる漁業の推進や販売体制の充実、体験漁業の推進などに努め、水産業の振興と消費拡大の促進を図ります。

主な数値目標

数値目標	単位	現状値 (R6)		目標値 (R12)
漁獲（水揚げ）量	t	4.1	➡	8.0

具体的な取組

1 漁業生産基盤の整備（産業振興課）

漁業生産基盤の整備を図るため、関係機関と連携しながら漁場の環境調査を行うとともに、漁場の環境改善方策等の研究を支援します。

主な取組

- 漁場・藻場の再生のための調査・環境改善方策の研究支援（産業振興課）
- 海底耕うん、浮遊物等除去による漁場環境改善への支援（産業振興課）

取組に対する数値目標

数値目標	単位	現状値 (R6)		目標値 (R12)
漁獲（水揚げ）量	t	4.1	➡	8.0



2 つくり育てる漁業の推進 (産業振興課)

持続可能で経営効率が高い漁業を目指し、ヒラメなどの稚魚放流事業をはじめとする“つくり育てる漁業”を推進します。

主な取組

- ヒラメ・ナマコ等種苗の放流事業の実施 (産業振興課)
- 稚ナマコの定着促進・中間育成及びカキ養殖への支援 (産業振興課)

取組に対する数値目標

数値目標	単位	現状値 (R6)		目標値 (R12)
種苗 (ヒラメ・ナマコ等) の放流	尾	30,000	➡	現状値を維持

3 消費拡大の促進 (産業振興課)

グリーン・ツーリズムの推進により漁業の体験を推進し、町内の水産加工物等の消費につなげます。また、水産物の消費拡大を図るため、直売所及びふるさと応援寄附金返礼品を通じた販売促進に努めます。

主な取組

- グリーン・ツーリズムを通じた漁業体験の推進 (産業振興課)
- 直売所及びふるさと応援寄附金返礼品を通じた消費拡大 (産業振興課)

取組に対する数値目標

数値目標	単位	現状値 (R6)		目標値 (R12)
グリーン・ツーリズム実施事業数(漁業)	件	2	➡	現状値を維持

計画の目標

既存店舗の経営安定化支援や創業・事業承継支援等による商業振興に努めます。

- 本町の商業環境は、隣接する長崎市や時津町と一体となった商圈が形成されています。近年では町内にも大型商業施設が立地し、利便性が向上しましたが、町民意識調査では、商業機能のさらなる強化を求める意見も見られるなど、本町の課題のひとつとなっています。
- 商業機能については、長崎市・時津町といった商圈・生活圏を共有するエリアとの住み分けを行い、町内では既存店舗の経営安定化と販売力向上に向けた支援を充実するとともに、チャレンジショップを活用した創業支援や先代経営者から事業を承継した後継者への支援、情報発信の強化などに取り組みます。

主な数値目標

数値目標	単位	現状値 (R6)		目標値 (R12)
町の創業支援等の活用による開業件数	件	2	➡	3

具体的な取組

1 経営安定化と販売力向上に向けた支援（産業振興課）

事業者の経営安定化と販売力向上を図るため、商工会や関係機関と連携した経営支援に取り組みます。また、新サービスや新事業の展開を後押しするとともに、融資制度等の活用促進及び相談体制の構築を図り、後継者の育成や事業承継への支援を行います。

主な取組

- 商工会や関係機関と連携した経営支援の充実（産業振興課）
- 小規模企業振興資金等、支援制度の周知及び活用促進（産業振興課）
- ★魅力ある店舗づくり、販路拡大への支援（産業振興課）
- 後継者の育成と事業承継への支援（産業振興課）

取組に対する数値目標

数値目標	単位	現状値 (R6)		目標値 (R12)
振興資金貸付件数	件	10	➡	現状値を維持



2 創業支援事業の推進（産業振興課）

創業者（創業希望者、創業後5年未満）に対して、関係機関と連携して窓口相談、支援セミナー、相談会、専門家による個別指導、チャレンジショップの活用等を実施して創業支援の充実を図ります。

主な取組

- ★商工会や関係機関と連携した創業支援の充実（産業振興課）
- 創業支援融資制度の周知及び活用促進（産業振興課）

取組に対する数値目標

数値目標	単位	現状値 (R6)		目標値 (R12)
創業支援相談件数	件	13	➡	現状値を維持
創業資金貸付件数	件	1	➡	2
創業関係セミナー参加者数	人	8	➡	現状値を維持

3 地域特性に応じた商業環境の充実（産業振興課）

買い物における利便性向上を図るため、地元商店に対する情報発信の支援や商工会商品券の発行等に取り組みます。

主な取組

- 地元商店の活性化への支援（産業振興課）

計画の目標

持続可能な経営基盤づくりや新分野への進出・事業承継を後押しし、工業振興に努めます。

- 本町の工業は、中小規模の事業所が多く、事業所数は減少傾向にある一方、製造品出荷額は、近年増加傾向にあります。工業の振興は雇用の場に不可欠な観点です。
- 昨今、国は経営者の高齢化や後継者不足が深刻化する中で、中小企業・小規模事業者が有する技術などの経営資源や雇用を喪失させないためには、次世代への適切かつ円滑な事業承継が必要であると強調しています。
- 今後も、持続可能な経営基盤づくりに向けた技術力向上や人材育成に関する各種事業を展開するほか、新分野への進出支援に加え人材確保への取組支援を進めます。

主な数値目標

数値目標	単位	現状値 (R6)		目標値 (R12)
製造品出荷額	百万円	5,540	➡	5,800

具体的な取組

1 持続可能な経営基盤づくりへの支援（産業振興課）

既存事業者の経営安定化と持続可能な発展を図るための基盤づくりとして、技術力・生産性の向上や人材育成に関する各種事業を実施します。さらに、関係機関と連携した融資制度等の活用や相談体制の構築、事業承継への支援に努めます。

主な取組

- 技術力及び生産性の向上や人材育成に関する各種事業の実施（産業振興課）
- 融資制度等の活用や相談・経営指導体制の確立による経営基盤の強化（産業振興課）
- 人材確保への取組支援（産業振興課）

取組に対する数値目標

数値目標	単位	現状値 (R6)		目標値 (R12)
1事業所あたり出荷額	百万円	292	➡	305



基本目標 1

基本目標 2

基本目標 3

基本目標 4

基本目標 5

基本目標 6

2 新分野への進出支援（産業振興課）

新分野進出を促進するため、関係機関と連携した融資制度の活用や技術的支援に努めます。また、産学金官民等の連携・交流による新技術・新製品開発を支援します。

主な取組

- 新分野進出等への経済的・技術的支援（産業振興課）
- 産学金官民・企業間の連携、異業種交流による新技術・新製品開発への支援（産業振興課）

取組に対する数値目標

数値目標	単位	現状値 (R6)		目標値 (R12)
新事業展開・新商品開発に取り組んだ事業者	社	0	➡	2



